

京都フラワー フラワー使い

Vo.06

令和2年5月8日

発行責任者
理事長
堀田正基

青果袋詰め作業をメインに。



令和元年12月、京都のシーパック商事K(株)様内に新工場が完成！更に利用者の増員、清掃作業なども加わり、利用者さんは奮闘中です。現在12名の利用者が奮闘中です。

今年は、新型コロナウイルスのパンデミックがあり、ベッドメイク事業を落ち込みましたが、ベッドメイクに関わる利用者さんも、青果袋詰め作業に従事！6月からベッドメイク作業も再開します。皆さん、応援をお願いします。

シーパック商事(株) 宇治も凄い物量！



宇治のシーパック商事は2班体制に、新棟2Fの1日2,000パックを仕上げる部署。日常品を扱う第三加工場の部署で元気に働いています。今年は、仕事が多く、物凄い物量を毎日こなしており、今後も12名の利用者が全国のスーパーに青果をお送りします。

令和2年のスタートは、新型コロナウイルスが中国の武漢で猛威を振るったニュースからスタート。その後、日本国内にも患者が増大。ホテルのベッドメイク作業は、3、4、5月は宿泊客なく、関わる利用者さんは、京都のシーパック商事(株)様に移動。今後は、京都市、宇治市のシーパック商事(株)様と青果袋詰め作業を拡大してまいります。パンデミックが起これば、どのような業種が強いのか、証明されました。食を扱う、ロジスティック業務は仕事が減るところか、増産、増産で推移しています。ベッドメイク、施設清掃等も変わらず運営してまいりますので、今後も皆様よろしくお願いいたします。今年は、日東カスタリアル・サービス(株)京都支店と契約を解除しましたが、Yさんが、日東に就職しています。頑張ってくださいね。